

# 大牟田市健康福祉総合計画について

令和元年12月9日  
保健福祉部福祉課

## 1 大牟田市健康福祉総合計画策定の理由

- 国では、地域包括ケアシステム<sup>1</sup>の考え方を障害者や子育て世帯、生活困窮者等の支援に広げていくことで、地域共生社会を実現<sup>2</sup>する必要性が言われており、各種計画や施策を統合していく方向性が示されている。本市においても機構改革を実施し、地域共生社会の実現を目指している。
- 地域において支援を必要とする人又は世帯の抱える課題が複雑化・複合化しており、多様な主体の関与や支援の包括化が求められる中、対象者別ではなく統合的な視点で計画を策定することで、包括的な支援体制が促進され「制度の狭間」の問題に対応できるようになることを期待している。
- また、福祉施策の基盤は健康的な生活にあり、健康は食生活に大きく支えられていることから、福祉と健康、食育は密接に関連しており、且つ地域において取り組むという共通点がある。さらに、健康づくりと介護予防の取組みは同一線上のものであるため、一体的な推進を図る必要があると考える。
- なお、改正社会福祉法（平成30年施行）において、地域福祉計画に「地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項」を盛り込むこととされ、地域福祉に関する活動については統合化する流れがあることなども踏まえ、健康福祉総合計画として各種計画を統合して策定することで、各種取組みを一体的に推進することをめざす。

---

<sup>1</sup> 重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制。

<sup>2</sup> 「ニッポン一億総活躍プラン（平成28年6月2日閣議決定）」に「子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」を実現する。このため、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築する」と位置付けられている。

## 2 大牟田市健康福祉総合計画のイメージ

- 「地域福祉計画（自殺対策計画・成年後見制度利用促進計画）」「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「健康増進計画」「障害者計画」「障害福祉計画・障害児福祉計画」「食育推進計画」を統合する「大牟田市健康福祉総合計画」を策定する。

